

## みずほマーケット・トピック(2024 年 1 月 19 日)

## 内容 1. 為替相場の動向

## 2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

## 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、米金利上昇を受け、昨年11月末以来となる148円台に乗せた。週初15日、145.15円でオープンしたドル/円は、上に往って来い。海外時間は、米国祝日の中、米国債先物の下落を背景に、一時146円手前まで上昇した。16日、ドル/円は米金利上昇を受け、146円台に乗せた。海外時間は、ウォラー・FRB理事のタカ派な発言を受けた米金利続伸につれ、147円台に上伸した。17日、ドル/円はドル買い相場が続き、148円を目指す展開。海外時間は、米12月小売売上高・鉱工業生産の良好な結果を受け、米金利上昇につれる格好で、昨年11月末以来の高値となる148.52円に上値を伸ばした。18日、ドル/円は日本株の軟調推移や米金利低下を横目に、148円を割り込んだ。海外時間は、米新規失業保険申請件数の強い結果を受け、米金利が上昇する流れに合わせ、148円台を回復した。本日のドル/円は、引き続き148円付近での取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、ドルの買い戻しに押され、1.09を割り込んだ。週初15日、1.0946でオープンしたユーロ/ドルは、ECB高官のタカ派な発言を受け上昇する場面もあったが、ドル買い相場の中で、1.09台半ばでのレンジ推移に留まった。16日、ユーロ/ドルはユーロ圏11月消費者期待インフレ率の鈍化に加え、米金利上昇が嫌気される中で、1.09を割り込んだ。17日、ユーロ/ドルは良好な米経済指標を受けたドル買いを背景に一時週安値となる1.0845に下落も、その後は米金利の落ち着きもあり、1.08台後半に値を戻した。18日、ユーロ/ドルは米金利低下や欧州株の堅調推移が支えとなり1.09台を回復するも、その後は米金利上昇が嫌気され、一時週安値付近に下落した。本日のユーロ/ドルは、ユーロの買い戻しを受け、1.08台後半での取引となっている。

## 今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

|              |          | 前週末       | 今 週       |           |           |           |  |
|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
|              |          | 1/12(Fri) | 1/15(Mon) | 1/16(Tue) | 1/17(Wed) | 1/18(Thu) |  |
| ドル/円         | 東京9:00   | 145.09    | 145.15    | 145.78    | 147.24    | 148.14    |  |
|              | High     | 145.56    | 145.93    | 147.32    | 148.52    | 148.30    |  |
|              | Low      | 144.35    | 144.94    | 145.59    | 147.09    | 147.67    |  |
|              | NY 17:00 | 144.92    | 145.79    | 147.17    | 148.15    | 148.15    |  |
| ユーロ/ドル       | 東京9:00   | 1.0983    | 1.0946    | 1.0945    | 1.0878    | 1.0886    |  |
|              | High     | 1.0987    | 1.0967    | 1.0948    | 1.0884    | 1.0907    |  |
|              | Low      | 1.0937    | 1.0934    | 1.0862    | 1.0845    | 1.0847    |  |
|              | NY 17:00 | 1.0950    | 1.0951    | 1.0874    | 1.0883    | 1.0877    |  |
| ユーロ/円        | 東京9:00   | 159.35    | 158.84    | 159.56    | 160.24    | 161.30    |  |
|              | High     | 159.54    | 159.82    | 160.14    | 161.28    | 161.34    |  |
|              | Low      | 158.55    | 158.84    | 159.27    | 160.02    | 160.65    |  |
|              | NY 17:00 | 158.67    | 159.64    | 160.12    | 161.28    | 161.05    |  |
| 日経平均株価       |          | 35,577.11 | 35,901.79 | 35,619.18 | 35,477.75 | 35,466.17 |  |
| TOPIX        |          | 2,494.23  | 2,524.60  | 2,503.98  | 2,496.38  | 2,492.09  |  |
| NYダウ工業株30種平均 |          | 37,592.98 | -         | 37,361.12 | 37,266.67 | 37,468.61 |  |
| NASDAQ       |          | 14,972.76 | -         | 14,944.35 | 14,855.62 | 15,055.65 |  |
| 日本10年債       |          | 0.58%     | 0.56%     | 0.59%     | 0.61%     | 0.65%     |  |
| 米国10年債       |          | 3.94%     | -         | 4.05%     | 4.10%     | 4.14%     |  |
| 原油価格(WTI)    |          | 72.68     | -         | 72.40     | 72.48     | 73.95     |  |
| 金(NY)        |          | 2,051.60  | -         | 2,030.20  | 2,006.50  | 2,021.60  |  |

## ドル/円相場の動向



## ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- 欧州では、25日(木)にECB政策理事会が開催される。12月会合では、2会合連続で各種政策金利の据え置きを決定。同会合で最も注目を集めたのはバランスシート(BS)政策であり、声明文でも2024年後半におけるパンデミック緊急購入プログラム(PEPP)再投資額の減額、2024年末における全額停止が予告された。これは、それまでBS政策におけるフォワードガイダンスを覆す内容であり、タカ派なサプライズと評価できる。やはり、目先早晩に利下げ開始に至る可能性は低いだろう。一方、域内のインフレ率は総合、コアベースともに鈍化傾向にあり、ECBも9日に公表したワーキングペーパーにおいて今次物価高騰局面は供給ショックに依る部分が大きいと論じている。賃金・物価の上昇スパイラルへの警戒が若干後退しつつあるようにも感じられる中で、今回会合においては、利下げに対し半歩距離を近づけるような情報発信をする可能性は否定できない。
- 本邦では、22日(月)～23日(火)に日銀金融政策決定会合が開催される。12月会合では、大規模金融緩和の現状維持を決定した。植田日銀総裁は会見で、事前に注目されたチャレンジング発言について、今後の取り組み姿勢を問われたので「一段と気を引き締めて」という意味で発言したと説明。やはり、同発言後の市場の反応は、誤訳などに伴う過剰反応だった。賃金・物価の好循環(いわゆる第二の力)に関しては「なお見極めていく必要がある」と述べたり、「焦って政策変更は不適切」と述べたりするなど、明確なゼロ回答を提示した格好だ。12月会合での発言や、年初の能登地震の発生などもあり、今回会合でのマイナス金利解除の可能性は限りなく低い状態となっている。なお、注目の賃金動向に関し、11日に公表された地域経済報告では、賃上げ動向に関しその不確実性の高さが指摘された。第二の力を見極めるべく、少なくとも春闘の結果を確認するまではマイナス金利解除に動かない可能性が高いだろう。

|          | 本 邦                                                         | 海 外                                                                                    |
|----------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1月19日(金) | ・12月消費者物価指数                                                 | ・独12月生産者物価指数<br>・米1月ミシガン大学消費者マインド(速報)<br>・米12月中古住宅販売件数                                 |
| 22日(月)   | ・日銀金融政策決定会合(23日まで)                                          | _____                                                                                  |
| 23日(火)   | ・植田日銀総裁会見                                                   | ・ユーロ圏1月消費者信頼感(速報)                                                                      |
| 24日(水)   | ・12月貿易収支<br>・1月製造業/非製造業PMI(速報)                              | ・ユーロ圏1月製造業/非製造業PMI(速報)<br>・米1月製造業/非製造業PMI(速報)                                          |
| 25日(木)   | ・12月工作機械受注(確報)                                              | ・独1月IFO企業景況感指数<br>・ユーロ圏ECB政策理事会<br>・米10～12月期GDP(速報)<br>・米12月耐久財受注(速報)<br>・米12月新築住宅販売件数 |
| 26日(金)   | ・日銀金融政策決定会合議事要旨(12月会合分)<br>・1月東京消費者物価指数<br>・12月企業向けサービス価格指数 | ・独2月GfK消費者信頼感<br>・米12月個人所得/支出<br>・米12月個人消費支出デフレーター                                     |

## 【当面の主要行事日程(2024年1月～)】

日銀金融政策決定会合(1月22～23日、3月18～19日、4月25～26日)

ECB政策理事会(1月25日、3月7日、4月11日)

FOMC(1月30～31日、3月19日～3月20日、4月30日～5月1日)

金融市場部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です  
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon.html> (Archives) [http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon\\_backnumber.html](http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon_backnumber.html)

| 発行年月日       | 過去6か月のタイトル                                |
|-------------|-------------------------------------------|
| 2024年1月18日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年12月分)              |
|             | 「貯蓄から逃避」で進む円の独歩安～現状整理～                    |
| 2024年1月17日  | 「新時代の赤字」の定点観測と今後の需給イメージ                   |
| 2024年1月16日  | マイルド・キャピタルフライト(後編)～需給への評価～                |
| 2024年1月15日  | マイルド・キャピタルフライト(前編)～家計の円売り～                |
| 2024年1月12日  | 週末版                                       |
| 2024年1月11日  | ユーロ圏インフレ率の近況～再浮揚の読み方～                     |
| 2024年1月10日  | 震災と旅行収支の関係について～2011年からの教訓～                |
| 2024年1月9日   | 米大統領選挙の考え方～メインシナリオを覆すか～                   |
| 2024年1月5日   | 週末版(能登半島地震の影響について～構造変化を経て「普通の通貨」になった円～)   |
| 2024年1月4日   | 24年、持つべきイメージは「長期円安局面の小休止」                 |
| 2023年12月22日 | 週末版(本邦の家計金融資産動向について～外貨性資産比率は「根雪」のイメージで～)  |
| 2023年12月20日 | 日銀金融政策決定会合～解除時期と円相場への影響～                  |
| 2023年12月18日 | 2024年、円需給の考え方～円転率や貿易収支が課題～                |
| 2023年12月15日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～「利上げ一利下げ」の考え方～)          |
| 2023年12月14日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年11月分)              |
|             | FOMCを終えて～突然変わった節目、日銀への影響も～                |
| 2023年12月13日 | 最近の需給環境について～24年も脆弱性は残る～                   |
| 2023年12月12日 | 12月日銀会合の行方～政治的観点、2000年との比較～               |
| 2023年12月11日 | 24年ドル/円見通し外観～「主戦場の変化」を確認する年～              |
| 2023年12月8日  | 週末版(円高と植田発言の読み方～チャレンジングの真意～)              |
| 2023年12月7日  | ECB、シュナーベル発言の読み方～拡大解釈を警戒～                 |
| 2023年12月6日  | 対内直接投資の胎動と今後への展望                          |
| 2023年12月4日  | 24年、円高シナリオの鮮度～130円割れはあれど～                 |
| 2023年12月1日  | 週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方～「最後の砦」となるサービス業～)   |
| 2023年11月28日 | ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望                      |
| 2023年11月24日 | 週末版(貿易赤字国が迎える米利下げ～通貨高は当たり前ではない～)          |
| 2023年11月21日 | 円高とPPPの考え方～収斂するのか、しないのか～                  |
| 2023年11月20日 | 過去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)                  |
| 2023年11月17日 | 週末版(本邦10月貿易統計を受けて～繰り返される23年と同じ言説～)        |
| 2023年11月15日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年10月分)              |
|             | 1年ぶり2度目のCPIショックをどう評価すべきか                  |
| 2023年11月14日 | ユーロ/円、15年ぶりの高値をどう理解すべきか                   |
| 2023年11月13日 | 24年は「家計の円売り」元年になるか～外貨資産の現状～               |
| 2023年11月10日 | 週末版(23年度上期経常収支の読み方～CFベースの黒字は10分の1に～)      |
| 2023年11月9日  | 「欧州の病人」は戻って来たのか？～企業の「ドイツ離れ」～              |
| 2023年11月2日  | 週末版                                       |
| 2023年10月30日 | 150円台定着を受けて～その背景と今後の論点整理～                 |
| 2023年10月27日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～再投資停止を阻むイタリア国債利回りの上昇～)   |
| 2023年10月26日 | ECBプレビュー～利上げ代替としてのMRR引き上げ～                |
| 2023年10月23日 | サービス収支に透ける製造業の行動変化                        |
| 2023年10月20日 | 週末版                                       |
| 2023年10月19日 | 本邦9月貿易統計～起きるべくして起きた23年の円安～                |
| 2023年10月18日 | 再び直面する天然ガスのリスク～ユーロ安考察～                    |
| 2023年10月16日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年9月分)               |
| 2023年10月13日 | 週末版(日独GDP逆転について～「弱い円」が原因としても・・・)          |
| 2023年10月12日 | カネ関連収支でも広がるサービス赤字                         |
| 2023年10月11日 | 赤字が広がるデジタル関連およびカネ関連の国際取引                  |
| 2023年10月10日 | 円安シナリオを延命させる中東リスク                         |
| 2023年10月6日  | 週末版                                       |
| 2023年10月5日  | 「底打ち懸念」も漂う米経済～米金利上昇の考え方～                  |
| 2023年10月4日  | 続・インフレを輸入する日本～「人手不足」の波～                   |
| 2023年10月3日  | ユーロ圏のインフレ情勢とECBの「次の一手」について                |
| 2023年10月2日  | インフレを輸入する日本～インフレ持続性の考え方～                  |
| 2023年9月29日  | 週末版                                       |
| 2023年9月26日  | 円安シナリオを長続きさせる貿易赤字                         |
| 2023年9月25日  | 日銀金融政策決定会合～マイナス金利解除の行方～                   |
| 2023年9月22日  | 週末版                                       |
| 2023年9月21日  | FOMCを終えて～「2024年こそ利下げの年」という危うさ～            |
| 2023年9月20日  | 23年4～6月期資金循環統計～「貯蓄から投資」の胎動～               |
| 2023年9月19日  | 「欧州の病人」は戻って来たのか？                          |
| 2023年9月15日  | 週末版(ECB政策理事会を終えて～「事実上の利上げ停止宣言」の読み方～)      |
| 2023年9月14日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年8月分)               |
| 2023年9月13日  | ECB政策理事会プレビュー～「見送り+ $\alpha$ 」の公算～        |
| 2023年9月12日  | 日銀の政策運営に関するQ&A～読売報道を受けて～                  |
| 2023年9月11日  | 7月国際収支の読み方～為替需給変わらず～                      |
| 2023年9月8日   | 週末版                                       |
| 2023年9月7日   | 日本の貿易収支が直面する2つの想定外                        |
| 2023年9月6日   | 海外出張で体感した内外価格差について                        |
| 2023年9月4日   | BRICS共通通貨は「いつか来た道」                        |
| 2023年9月1日   | 週末版(ECB政策理事会議事要旨と8月消費者物価指数について～9月利上げの行方～) |
| 2023年8月30日  | 夏を終えても変わらなかった円の独歩安                        |
| 2023年8月28日  | ジャクソンホールで浮き彫りになるインフレに対する「当事者」感            |
| 2023年8月25日  | 週末版                                       |
| 2023年8月24日  | ユーロ圏経済の悪化とユーロ相場の現状                        |
| 2023年8月23日  | なぜ購買力平価は使えなくなっているのか                       |
| 2023年8月22日  | 力強さが続くユーロ圏の雇用・賃金情勢                        |
| 2023年8月21日  | 「持たざるリスク」に直面する日本の家計部門                     |
| 2023年8月18日  | 週末版(本邦7月貿易収支を受けて～中国不振が阻害する収支改善～)          |
| 2023年8月17日  | 本邦4～6月期GDPの読み方～冴えない内需～                    |
| 2023年8月15日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年7月分)               |
|             | 年初来安値で確認する円の立ち現在地                         |
| 2023年8月14日  | 再投資柔軟化から1年～フランスに並んだイタリア～                  |
| 2023年8月10日  | 週末版(アマゾン「プライム」値上げの意味するもの～デジタルサービスへの外貨流出～) |
| 2023年8月9日   | 緩和持続を約束する実質賃金の低迷～円安の余韻～                   |
| 2023年8月8日   | 23年上半期の国際収支統計を受けて～CFベースでは赤字～              |
| 2023年8月7日   | マイナス金利解除の実現可能性～日銀に迫る円売りゲーム～               |
| 2023年8月4日   | 週末版                                       |
| 2023年8月2日   | ユーロ圏経済の近況～経済・物価情勢はECBハト派化を示唆～             |
| 2023年7月31日  | 日銀会合を終えて～今後の課題は「円売りによる挑発」～                |
| 2023年7月28日  | 週末版(ECB政策理事会を終えて～急速に薄らいだタカ派色～)            |
| 2023年7月27日  | FOMC(7月25～26日)を終えて～現状維持に備え～               |
| 2023年7月25日  | 日銀金融政策決定会合(7月27～28日)プレビュー                 |